

# 指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

## 1 公の施設の概要について

施設の概要	名称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 開戸センター
	所在地	あきる野市湊上332番地1
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係
指定管理者	名称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外(植木等のせん定を含む。)、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページURL		<a href="http://www.akirudai-hp.or.jp/houjin/center.html">http://www.akirudai-hp.or.jp/houjin/center.html</a>
指定期間		平成30年4月1日～令和5年3月31日

## 2 施設の利用状況等について

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開館等日数(日)	268	251	185	226	264
延べ利用者数 必須事業(人)	3,249	2,985	2,245	2,820	3,439
前年度比(人)	229	△264	△740	575	619
前年度比(%)	107.6%	91.9%	75.2%	125.6%	122.0%
延べ利用者数 自主事業(人)	3,588	3,188	1,829	2,898	3,964
前年度比(人)	487	△400	△1,359	1,069	1,066
前年度比(%)	115.7%	88.9%	57.4%	158.4%	136.8%
利用料金 必須事業(千円)	2,802	2,537	1,908	2,397	2,923
前年度比(千円)	180	△265	△629	489	526
前年度比(%)	106.9%	90.5%	75.2%	125.6%	121.9%
利用料金 合計 自主事業(千円)	2,104	1,917	1,080	1,660	2,261
前年度比(千円)	323	△187	△837	580	601
前年度比(%)	118.1%	91.1%	56.3%	153.7%	136.2%

## 3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
収 入	指定管理料	13,420	13,567	13,420	13,420	13,567
	利用料金収入	2,802	2,537	1,908	2,397	2,923
	自主事業収入	2,104	1,917	1,080	1,660	2,261
	その他の収入	0	0	644	0	0
	収入計	18,325	18,021	17,052	17,477	18,751
支 出	人件費	11,759	11,820	11,028	11,236	12,042
	維持管理経費	4,648	4,721	4,156	4,904	5,559
	自主事業関係経費	620	450	667	713	391
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出計	17,028	16,991	15,850	16,852	17,992
収支(収入-支出)	1,298	1,030	1,202	625	758	

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

#### 4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
開戸センターでは意見箱の設置のほか、通所日の声掛けや会話の中から意見や要望をいただいています。ニーズに応える努力をして居心地の良いセンターを目指しています。また、必要時の個人面談も取り入れています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
開戸センター利用の方から職員の挨拶や対応が気持ち良い、元気が出るとお褒めの言葉をいただいております。3センター合同研修会「スキルアップ研修」実施の成果です。引き続き継続する事で利用促進につなげていきます。また、祭日の講座の開催や通所の振替利用も好評をいただいております。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
あきる野市民の皆様センターを知っていただくためにホームページ、広報、自治会訪問、Instagram、ロコミ等周知活動に力を入れました。はじめて利用された方からはもっと早くセンターを知りたかったと言う声もいただいています。活動予定表の配布により、一つの講座だけでなくリピートされる方も増加しています。

#### 5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
利用者に迷惑にならないで範囲で、経費削減や無駄をなくしています。午前と午後エアコンの温度設定の変更、また、通所利用の活動内容をリサイクル品の使用等にしています。日々の節電や無駄をなくす努力も行いました。

#### 6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
必須事業については、登録者数を維持するために「体力・健康・脳トレ体操」の強化に取り組みました。介護申請を遅らせる要因になっています。登録人数も維持出来ました。 また、自主事業の利用者にもセンターの役割や存在を周知していき、通所利用の移行に繋げていく努力をして、活動内容の見直しも行いました。 自主事業については、利用者の意見を大切にニーズに合った講座を立ち上げ、地域に密着して市民の皆様喜んでいただけるセンターを目指していきます。 引き続き職員のスキルアップにつながる研修会を行っていきます。

#### 7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
利用者の個別面談や日頃の会話から利用者のニーズを把握し、事業展開するよう努めていることは評価できます。スキルアップの研修会を実施し、利用者から「職員の挨拶や対応が気持ち良い」というお言葉をいただけたことは、接客力向上の効果が出ている証拠だと考えられます。また、様々な媒体を利用し、広報活動ができていたため、今後も継続して実施し、新規利用者の獲得に努めてください
経費削減の取組
午前と午後エアコンの温度設定を変えることでの節電や、活動で使用する消耗品の端材等をリサイクル品に活用するなど、経費の節減に取り組むことができています。引き続き、センター運営に支障が出ないよう心がけ、経費削減に取り組んでください。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設を臨時休館しましたが、影響を最小限にとどめるよう努め、前年度比で利用者数を増加することができました。「体力・健康・脳トレ体操」の強化に取り組んだことが、介護申請される利用者の減少につながった要因の一つであると考えられます。 引き続き、既存利用者の継続、新規利用者の獲得を目指し、ニーズに応えた講座の提供、さらに広く周知を図るとともに、安全かつ快適で利用しやすい施設の管理運営に努めてください。

総合評価

**A**

#### ※評価基準

S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。

- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。